

別添3（第4の1関係）

令和元年（西暦2019年）度学校給食用牛乳供給円滑化推進事業の実施結果
（北海道農政事務所）

1 令和元年度 北海道学校給食用牛乳推進会議

<div style="text-align: center;">都道府県</div> 名 項目	北海道
(1) 日付	令和2年2月19日（水）
(2) 場所	第二水産ビル4階「E会議室」（札幌市）
(3) 参加機関と人数	北海道農政部生産振興局畜産振興課、北海道教育庁学校教育局健康・体育課、北海道学校栄養士会、ホクレン農業協同組合連合会生乳共販課、（一社）北海道乳業協会以上7名
(4) 議題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度学校給食用牛乳供給推進事業の進捗状況について ・ 令和2年度学校給食用牛乳供給推進事業の計画について ・ 令和元年度給食用牛乳等支援事業の進捗状況について ・ 令和2年度給食用牛乳等支援事業の計画について ・ その他
(5) 概要	<p>令和元年度の進捗状況の説明について事務局が説明し進捗率73.5%であること等の説明をした。</p> <p>令和2年度の計画については、全国会議の資料に基づき、昨年度からの変更は特になかったこと。また、牛乳の風味変化に対して関係者の理解醸成を図るため研修会等は補助対象となるので広く活用してほしいとの話があった。また、安定需要確保対策事業についても、毎年算出方法の見直ししてほしいと意見があり、令和3年以降については、各地域の実情を踏まえつつ検討していきたいということだった。</p> <p>給食用牛乳等支援事業についても事務局が説明し、進捗率は66%であり、今後まだ事業がある旨説明した。計画についても、次年度は若干縮小して進めていく旨説明した。</p> <p>その他として、当協会が独自事業としている牧場・乳業ふれあい体験事業と、牛乳空パックリサイクル推進事業についても説明した。</p>

(6) 成果	<p>参加者から保護者負担額等の算出方法の質問があり、事務局が説明し、理解してもらった。</p> <p>牧場・乳業ふれあい体験事業について、いい事業なので広く周知するよう意見が出た。</p> <p>また、出席者間で、事業の進捗状況、事業計画について情報共有等が図られた。</p>
--------	---

2 令和元年度学乳供給事業担当者会議

<div style="text-align: center;">都道府県</div> 名 項目	<div style="text-align: center;">北海道</div>
(1) 日付	令和2年1月14日(火)
(2) 場所	農政部 第1中会議室(札幌市)
(3) 参加機関と人数	北海道農政部生産振興局畜産振興課、北海道教育庁学校教育局健康・体育課、令和元年度学校給食用牛乳供給業者等、(一社)北海道乳業協会 以上29名
(4) 議題	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道学校給食用牛乳供給実施方針について ・北海道学校給食用牛乳供給事業に係る供給価格等決定要領について ・令和2年度供給価格等の決定に係る事項について ・その他
(5) 概要	<p>令和元年度の進捗状況として、順調に進んでいる旨の説明をした。</p> <p>農政部生産振興局畜産振興課が、全国会議での内容(安定需要等の事業は特に変更はなし)の説明をした。</p> <p>その他で、当協会の令和元年度の進捗状況及び、令和2年度の計画を説明した。</p>
(6) 成果	出席者間で、情報共有等が図られた。

3 実態調査等

名 項目	都道府県 北海道
(1) 日付	令和元年4月1日から令和2年3月31日
(2) 場所	(一社) 北海道乳業協会
(3) 調査実施主体	(一社) 北海道乳業協会
(4) 調査目的	学乳事業の効率的な遂行
(5) 概要	令和元年度の学乳事業の啓発、関係機関との連絡調整
(6) 成果	令和元年度事業に係る関係機関との情報共有により、円滑な実施ができた。